

1 トラック 1
2
3 おい、お前
4
5 突然声をかけてすまん
6
7 ふ〜む…なるほど…
8
9 今日はよく迷い人に会えるの
10 お前、気が付いたら森の中にいたのじゃろう？
11 なるほどな…
12
13 お悪い、名乗っておらんかったな
14 妾
15
16 ここに住んでおる者じゃ
17
18 なんじゃ？ここはどこかじゃと？
19
20 ここはどこでもない場所
21
22 強いて言えばお前がいた
23 現世じゃ
24

1 そしてその様な場所に迷い込む人間を
2 妾は迷い人と呼んでおる
3
4 ここに迷い込む理由は様々じゃ
5
6 お前はどのような理由か分からんが
7 まあそれはいいじゃろう
8
9 本当はすぐにでもお前を元居た場所に帰してやりたいのじゃが…
10
11 先ほど別の迷い人を
12 現世に送り返したばかりでの
13
14 妾には迷い人の元居た場所へ
15 扉を開く事が出来る力があるのじゃが
16
17 一度、力を使うと
18 再び使える様になるまでちいーとばかしかかるんじゃ
19
20 いつもはひと月に一人ほどじゃから気にしておらなんだが…
21 こうも続くのは初めてじゃ
22
23 う～む…
24 どうしたものかの…

1 仕方がない
2 力が戻るまで妾の家に泊まっていけ
3
4それほど綺麗な家ではないがの
5 食事と寝る場所くらいは都合してやろう
6
7 それともこんな怪しい女狐の家は嫌かの？
8 もしそうじゃとすればこの森で野宿する羽目になるが…
9
10 まあ…言わずとも分かるじゃろ？
11
12 聞き分けがいい奴じゃ
13
14 こっちじゃ
15 ついてこい
16
17 ただいま～…
18 と言っても誰もいないのじゃが
19 ふ…つい言ってしまうんじゃ
20
21 部屋はここを使え
22 普段はちょっとした物置として使っておったが別の部屋に物を移してな
23 ちょうど部屋を掃除して綺麗にしたところじゃ
24

1 ふっ…まるでお前が来るのを予感しておった様じゃな
2
3 冗談じゃ
4
5 さて…厠は向こう、風呂はあっちじゃ
6 食事は夕方になったら、用意をする
7
8 あっそうじゃ…
9
10 風呂を使うなら、お前の着る物を用意しておかねばな
11
12 じゃが安心しろ
13 ここには色々外から流れつくんじゃ
14
15 服は勿論、書物や食器
16 あと妾には使い方が分らんが
17 光る板や車輪のついた鉄の箱とかの
18 まあ適当に綺麗そうな物は拾っておる
19
20 その中からお前に見繕ってやろう
21
22 あとは布団なんじゃが…
23
24

1 これは悪いが妾の分しかない
2 何せ人を泊める事を考えておらなんだ
3 それに布団なぞ拾っても面白くないからの
4
5 お前に悪いが
6 夜は一緒に布団で寝るとしよう
7
8 最近は夜も冷えるし、その方がお互いに暖かくて都合がいいじゃろ？
9
10 短い間だが、お前の家じゃと思って
11 ゆっくり過ごしてくれてよいからの
12
13 ん？
14 何か手伝えることがあれば、言って欲しいじゃと？
15
16 そうじゃな…では甘えとするかの…
17
18 実は最近、畑の草むしりがの…
19
20
21
22
23
24

1 トラック 2
2
3 いや〜、面白かったのお
4 外の世界の人間としっかり話をするのは初めてじゃ
5
6 さてと…夜も更けた事じゃし
7 そろそろ眠るとしようかの
8
9 風呂も済んでいることだし
10 さ、床へゆこう
11
12 布団はもう敷いておいたからの
13 よいしょ…っと…
14
15 さぁ遠慮せずに入ってこい
16
17 少し狭いが苦しくはないかの…？
18
19 今日は本当に楽しかったぞ
20
21 お前と一緒に畑仕事をしたり
22 食事を一緒に作って、食べたり
23 先ほどの様に話をしたり…
24 ここでは中々味わえない事ばかりじゃ…

1
2 ありがとうな…
3
4 ん…？
5
6 もっと寄ってくれていいんじゃないぞ…？
7 寒いじゃろ…？
8 遠慮するでない
9 もっと妾を抱きしめてくれても…
10
11 ん…？お前、何を恥ずかしがって…
12
13 なるほど…そういう事か…♥
14 男はこういった事ですぐマラを大きくしてしまうんじゃない…♥
15 妾の何がそんなに良かったんじゃない…？♥
16
17 妾の顔が好みじゃったか…？♥
18 それとも大きな胸が好みじゃったか…？♥
19 そんなに顔を赤くして可愛い奴じゃ…♥
20
21 で…？♥どうして欲しいんじゃない…？♥
22 別に嫌ではない…♥
23
24 それにこれを鎮めないと…お前眠れないじゃろ…？♥

- 1 妾にも少しは心得がある…♥
- 2
- 3 ここには色々流れつくと言ったじゃろ…♥
- 4 勿論そういう本もあるからの…♥
- 5
- 6 ほれ、少し触るぞ…♥
- 7
- 8 ん…♥
- 9 とても熱くて…硬いのお…♥
- 10 本で見た事があるものより立派じゃ…♥
- 11
- 12 妾の手はどうじゃ…？♥
- 13 気持ちがよいかの…？♥
- 14 痛くはないか…？♥
- 15 そうか…♥上手に出来ているなら良かったのじゃ…♥
- 16
- 17 あ…♥手の中で…♥
- 18 お前のマラがどんどん大きくなってゆく…♥
- 19
- 20 しこしこ…♥しこしこ…と♥
- 21 優しくされるのが好きなのか…？
- 22
- 23 しこしこ…♥しこしこ…♥しこしこ…♥
- 24

- 1 くびれた傘の所に…♥指で作った輪を引っかけて…♥
- 2 ちゅこちゅこ…♥ちゅこちゅこ…♥
- 3
- 4 ふふ…♥本の通り…♥男はここが弱いじゃな…♥
- 5 ちゅこちゅこ…♥ちゅこちゅこ…♥
- 6
- 7 後は…この裏筋の所を…♥
- 8 カリカリ…♥カリカリ…♥と引っ搔くのも…♥
- 9
- 10 どうじゃ…？♥気持ちがいいかの…？♥
- 11 ふふ…♥先走りの汁が沢山出てきたぞ…♥
- 12 喜んでくれている様で…♥妾嬉しいぞ…♥
- 13
- 14 さて玉袋の方も…♥ん…♥でっぷりと膨らんでおるの…♥
- 15 ふむ…♥さぞかし濃ゆい子種を溜め込んでいるのだろうな…♥
- 16
- 17 濃ゆすぎて…ダメになっていては…♥
- 18 お前も出す時に困るじゃろ…♥
- 19
- 20 こうやって…もみもみ…もみもみと…♥
- 21 玉袋を揉みほぐしておいてやろう…♥
- 22
- 23 今ある子種と…♥これから作られる…♥
- 24 ぐつぐつと煮立って粘ついた子種を…♥

- 1 すっきり…♥沢山出せる様に…♥
- 2 凝りをほぐしておいてやるからの…♥
- 3
- 4 ん…♥もう限界か…？♥
- 5 マラの先っぽが膨らんできたぞ…♥
- 6 玉袋もキュッ…♥と持ち上がって…♥
- 7
- 8 よしよし…♥よいぞ…♥遠慮する事は無い…♥
- 9 出せ…♥妾の手の中で…♥たっぷり出せ…♥
- 10 お前の力強い射精を…♥
- 11 妾に見せておくれ…♥
- 12 ほら…♥出せ…♥出せ…♥イケ…♥イケ…♥イケッ…♥
- 13
- 14 よしよし…♥いい子じゃ…♥沢山出たの…♥
- 15 こんなに粘ついた子種を出して…♥
- 16 喜んでくれた様で何よりじゃ…♥
- 17
- 18 すまぬが、塵紙を取ってくれるのかのお…？
- 19
- 20 すまんな…
- 21
- 22 さてと♥まだ物足りないと言った様子じゃな…♥
- 23 次は…そうじゃな…
- 24 妾の胸を使うというのはどうじゃ…？♥

- 1 胸を使っのふれい？もあるのじゃろ…♥
- 2 ばいずり…？じゃったか…♥
- 3 胸の間にマヲを挟んで抜くアレじゃ…♥
- 4 どうじゃ…？試してみるか…？♥
- 5
- 6 よし…♥
- 7 ではゆくぞ…♥
- 8
- 9 どうじゃ…♥妾の胸は…♥
- 10 柔らかくて…♥気持ちいいじゃろお…？♥
- 11 あとは…こうやって…♥
- 12
- 13 ずりずり…♥ずりずり…♥と
- 14 上下に動かしたり…♥
- 15
- 16 マヲを揉みほぐす様に…♥左右から…♥
- 17 ぬちゃぬちゃ…♥ぬちゃぬちゃ…と…♥
- 18
- 19 ん♥先ほど出した子種が…♥ぐちゃぐちゃと…♥
- 20 滑りが良くなって…♥ちょうどよいの…♥
- 21
- 22 本当に立派なマヲじゃな…♥ごくり…♥
- 23 長さも太さも…♥先ほど出した子種の濃さも…♥
- 24 さぞ経験豊富なんだろうな…♥

- 1 ん…？♥妾だけじゃと…？♥
- 2 ふふ…♥妾もお前が初めてじゃったが…♥
- 3 お前もか…♥
- 4 ならたっぷり気持ち良くしてやらんとな…♥
- 5
- 6 ぱちゅ…♥ぱちゅ…♥ぱちゅ…♥ぱちゅ…♥
- 7
- 8 マラが暴れよるのお…♥
- 9 お気に召した様で何よりじゃ…♥
- 10 お♥マラがまた膨らんできたぞ…♥
- 11
- 12 よしよし…♥我慢せず出してよいぞ…♥
- 13 妾の胸を…♥女子のほどだと思って…♥
- 14 気持ちよく出してくれ…♥
- 15
- 16 もう一度見たいんじゃ…♥
- 17 お前が妾で気持ちよくなって…♥果てる姿を…♥
- 18
- 19 ほら…♥イケ…♥イケイケ…♥
- 20
- 21 イッてしまえ…♥
- 22 出せ…♥出せ…♥出せ…！♥
- 23
- 24 お～…♥よしよし…♥

- 1 いいぞ…♥びゅくびゅく出てるぞ…♥
- 2
- 3 見ろ…♥
- 4
- 5 胸の間に…お前の子種がへばりついて…♥
- 6 糸を引いているじゃろ…♥
- 7 たくさん出せて…偉いのお…♥
- 8
- 9 お前は気持ちよくなれたし
- 10 妾はお前の可愛い顔も見れて満足じゃ…♥
- 11
- 12 これならぐっすり眠れるな…♥
- 13
- 14 でもその前に…風呂に行こう…♥
- 15 この濃ゆい精液の匂いを落とさんと…♥
- 16 今度は妾が眠れなくなってしまう…♥
- 17
- 18 あ、そうじゃ…♥
- 19 せっかくじゃし…今度は一緒に入って…
- 20 お前が妾の背中を流してくれ…♥
- 21
- 22 よいな…？♥
- 23 さ、ゆこう…♥
- 24

- 1 トラック 3
- 2
- 3 すまんのぉ…
- 4 一人布団で待たせてしもうたな…
- 5 何をしておったかじゃと…？
- 6
- 7 えっと…♥い、いや…♥それはじゃなあ…♥
- 8 え…？♥か、顔が赤い…？♥
- 9 あっ…♥えっと…これは…だ、大丈夫じゃ…♥
- 10 さ、さあ、はよう布団にいれてくれ…♥
- 11
- 12 あ〜…♥ダメじゃ…♥
- 13 お前の温もりと…♥
- 14 匂いを嗅いでしまうと…♥
- 15
- 16 くんくん…♥すんすん…♥
- 17
- 18 くんくん…♥すう〜〜…♥
- 19
- 20 身体が…火照ってしまう…♥
- 21
- 22 こんな事…初めてなんじゃ…♥
- 23 頭の中がふわふわして…♥
- 24 お前の事しか考えられなくなる…♥

- 1 それに胎の奥が…♥
- 2 ジクジクと…甘く痺れて…切なくなるんじゃ…♥
- 3
- 4 実は…その…遅かったのはじゃな…♥
- 5 一人で慰めておったのじゃ…♥
- 6 一人で…何度も慰めて…♥
- 7
- 8 ようやく落ち着いたと思った…♥
- 9 そう思ったんじゃが…♥
- 10
- 11 お前の匂いを嗅いだら…♥
- 12 先ほどとは比べ物にならない程…♥
- 13 疼き始めているんじゃ…♥
- 14
- 15 こうなったら…♥お前に手伝って欲しいんじゃ…♥
- 16 お前の指でいい…♥貸してはくれまいか…♥
- 17
- 18 よいのか…♥
- 19 やはりお前は優しいやつじゃな…♥
- 20
- 21 それでは…♥さあ…♥
- 22 好きな様に…♥
- 23
- 24

- 1 ん…♡あっ…♡んお…♡ほお…♡おお…♡
- 2 お前の指が…♡中をほじって…♡ほおっ…♡
- 3 あっ…♡そこっ…♡んお…♡ほお…♡
- 4 そこ好き…♡ほお…♡あっ…♡んお…♡
- 5
- 6 ほっ…♡んお…♡ふっ…♡ふ～っ…♡んほお…♡
- 7 ほおっ…♡入り口の…♡浅い所…♡ほおッ…♡
- 8 んお…♡そこ…♡うえっかわの…♡ざらざらした所…♡
- 9 そこ…♡たくさんほじって…♡んッ…♡んお…♡ほおッ…♡
- 10
- 11 あっ…♡おっ…♡きもち…♡きもち…♡あっ…♡
- 12 んっ…♡ほお…♡おっ…♡おほっ…♡ほおっ…♡
- 13 お前にしてもらうのが…♡んお…♡ほお…♡
- 14 これほど気持ちがよいなんて…♡んお…♡おお…♡
- 15
- 16 のお…♡次はもう少し…♡奥を頼む…♡んお…♡
- 17 あゝっ…♡そうじゃ…♡奥の所が…♡すごく痒くて…♡んお…♡
- 18 あっ…♡しよれ…♡ほお…♡その窪んだ所…♡ほお…♡
- 19 たくさん…♡指でほじって…♡んお…♡ほお…♡
- 20
- 21 あゝ～♡んおゝ…♡ほおゝ…♡おおゝ…♡ほおゝ…♡
- 22 汚い声が出てしまう…♡やっ…♡いやじゃ…♡
- 23 お前に…♡おゝッ…♡んおゝッ…♡おおゝッ…♡
- 24 こんな声…♡んおゝッ…♡聞かれたくない…♡

- 1 なんて激しく` ッ♥おお` ッ♥んお` ッ♥ほお` ッ♥
- 2 やッ♥ぬおッ♥おお` ッ♥んおッ♥おお` ッ♥おッ♥
- 3 おお` ッ♥おほッ♥んお` ッ♥ほお` ッ♥おお` ッ
- 4 あ` ッ♥イツ…!♥ま、まで♥指とめ` ッ♥おお` ッ♥おッ♥
- 5
- 6 んッ…♥口吸い…♥キスを…♥あっ…♥キスしてくれ…♥
- 7 しながらッ…♥イきたいんじゃ…♥頼む…♥
- 8
- 9 んッ…♥ちゅば♥ちゅば♥ちゅぞッ♥ちゅぞぞッ♥
- 10 ちゅっ♥ちゅっ♥ちゅばッ♥むちゅッ♥ちゅっちゅ♥
- 11
- 12 んッ♥ん` ッ♥ん` ッ♥ん` っ〜〜!♥
- 13
- 14 ちゅば♥ちゅば♥ちゅっ…♥ちゅぞぞ…♥
- 15 れろれろ…♥はむ…♥ちゅっちゅ…♥ぷは
- 16
- 17 ふ〜〜ッ…♥ふ〜〜ッ…♥
- 18 なんじゃ…?♥可愛かったじゃと…?♥
- 19
- 20 か、可愛くなんか…ない…♥
- 21 お前…存外意地が悪いんじゃな…♥
- 22
- 23 じゃが気持ち良かったぞ…♥
- 24 満たされた気分じゃ…♥

1 ん…♥ふふ…♥
2 妾の汚い声を聞いて興奮したのかの…？♥
3 そうかそうか…♥
4
5 妾を慰めてくれたお礼に…♥お前のも慰めてやらんとな…♥
6 そうじゃな…♥今日は妾の口を使うというのはどうじゃ…？♥
7 よし…ではそうしよう…♥
8
9 ん…♥本当に立派じゃな…♥
10 痛かったら…♥すぐ言うんじゃぞ…？♥よいな…？♥
11
12 はむ…♥ちゅる…♥ちゅぞ…♥れろれろ…♥ちゅぞ…♥
13 ちゅぽ…♥ちゅぽ…♥ちゅぽ…♥ちゅぽ…♥
14 ちゅぽ…♥ちゅぽ…♥ちゅぽ…♥ちゅぽ…♥ちゅぽん…♥
15
16 ちゅっ…♥ちゅ…♥ちゅっ…♥れろれろ…♥
17 ちゅぱ…♥ちゅぞ…♥ちゅっ…♥ちゅっちゅ…♥
18
19 どうじゃ…♥ちゅっ…♥上手に出来ておるか…？♥
20 ちゅっ…♥そうか…♥良かった…♥ちゅっ…♥
21
22 次は少し激しくしてみようかの…♥
23
24

- 1 はむ♥ちゅぞぞッ♥ちゅぞッ♥ちゅぞッ♥
- 2 ぐっぽッ♥ぐっぽッ♥ぐぼッ♥ぐぼッ♥
- 3 ちゅぞッ♥ちゅぽッ♥ちゅぽ♥ちゅぽッ♥
- 4
- 5 どうじゃ♥
- 6 ちゅぞッ♥気持ちよいか?♥ちゅぽッ♥
- 7 ちゅぞッ♥上手く出来るか?♥ちゅぞッ♥
- 8
- 9 ぐぼッ♥ぐぼッ♥そうかッ♥そうか♥ちゅぞぞッ♥
- 10
- 11 ちゅぽッ♥ちゅぞッ♥ちゅぞぞッ♥ちゅぞぞッ♥
- 12 ぶっぽ♥ぶぽッ♥ぶぽッ♥ちゅぞぞッ♥ちゅぞッ♥
- 13
- 14 先っぽ♥ふくりゃんでおるぞッ♥ぐぼッ♥ぐぼッ♥
- 15 らしてッ♥いいんじゃぞッ♥ちゅぞッ♥
- 16 このまま♥妾の口の中にッ♥ちゅぽッ♥
- 17 濃ゆいのだせッ♥ぐぼッ♥ぐぼッ♥ちゅぞッ♥
- 18
- 19 んッ!♥んッ〜…♥ふ〜…♥ふ〜…♥ふ〜…♥
- 20
- 21 ちゅるるッ…♥ちゅるるッ…♥ちゅ〜ッ…♥ちゅぽんッ♥
- 22
- 23 あ〜…♥いっぱいれたな…♥こんなにらして…♥
- 24 よほどわらわの口が良かったとみえる…♥

- 1 ちゃんとみへおれよ…♥
- 2
- 3 くちゃくちゃ…♥くちゃくちゃ…♥ごっくん…♥
- 4
- 5 ぷはぁ…♥ご馳走様…♥
- 6 ん？♥吐き出して良かったのにじゃと…？♥
- 7 その様な勿体ない事出来ないじゃろ…♥
- 8 なぜだか分からないが…♥そう思ったんじゃ…♥
- 9
- 10 さてと…
- 11 お互い満足したし…眠るとするかのお…♥
- 12
- 13 おやすみ…♥
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24

- 1 トラック 4
- 2
- 3 ん、来たな…
- 4 その…話があるんじゃ…
- 5 聞いてくれるかの…？
- 6
- 7 さあ、座ってくれ…
- 8
- 9 お前は明日には帰ってしまうじゃろ…
- 10 お前が来た日からお互いを慰め合って
- 11 キスもしたし…
- 12
- 13 そ、その…だな…ま、まだその…えっと…
- 14
- 15 お前と愛し合っていないじゃろ…？
- 16 お前としたいんじゃ…
- 17 お前が現世に帰ってしまう前に…
- 18 お前と…愛し合いたいんじゃ…
- 19
- 20 ダメかの…？
- 21
- 22 んっ…♥ちゅば…♥ちゅっ…♥ちゅぞ…♥
- 23 ちゅば…♥ちゅっ…♥あむ…♥ちゅば…♥
- 24 ちゅっ…♥ちゅっちゅ…♥ぶは…♥

- 1 妾の事を受け入れてくれて嬉しいぞ…♥
- 2 妾はお前の事が…大好きじゃ…♥
- 3
- 4 では早速愛してもらおうかの…♥
- 5 お前はそのまま座っておったらよい…♥
- 6 最初は妾が動いてやるからの…♥
- 7
- 8 ん…♥挿れるぞ…♥んッ…♥
- 9
- 10 んお…♥やはり…大きいのお…♥んっ…♥
- 11 ほお…♥んッ…♥んお～…♥ほお～…♥
- 12
- 13 んお…♥お前のが…♥奥まで…挿ってくる…♥
- 14 あッ…♥奥に来る…♥お前のマラが…奥に…♥
- 15
- 16 あっ…♥おおッ…♥奥にどちゅッ…♥って…♥
- 17 おおッ…♥んほおッ…♥
- 18 子宮ちゅぶれるッ…♥おっ…♥んほお…♥おお～ッ…♥
- 19
- 20 すまん…♥少し…息を整えさせてくれ…♥
- 21 ふ～…♥ふ～…♥ふ～…♥ふ～♥
- 22
- 23 心配するな…♥大丈夫じゃ…♥
- 24 本当に優しいなお前は…♥

1 よし…♡ゆっくり動くからな…♡んッ…♡
2
3 ほお…♡おおっ…♡んお…♡おおっ…♡きもちっ…♡
4 んゝッ…♡んゝッ…♡ほおっ…♡んほお…♡ほおっ…♡
5
6 んおゝッ…♡ど、どうじゃ…？♡
7 気持ちよいか…？♡んおゝッ…♡おおゝッ…♡
8
9 そうか…♡それなら…♡ほっ…♡
10 良かった…♡おおゝッ…♡んほおゝッ…♡んおゝッ…♡
11 それは良かったっ…♡おおゝッ…♡ほッ…♡んおゝッ…♡
12
13 妾も…♡気持ちよい…♡んほお…♡んおゝッ…♡
14 だいふ…♡ほおっ…♡慣れてきたから…♡おほッ…♡
15 激しくするぞ…♡
16
17 おほッ♡んおゝッ♡これすごッ♡んおゝッ♡ほおゝッ♡
18 んおゝッ♡おんゝッ♡おゝッ♡おッ♡ほおッ♡ぐおッ♡
19 ほおゝッ♡ぐおゝッ♡おッ♡おおッ♡んおゝッ♡おおゝッ♡
20
21 あゝッ♡子宮揺れるッ♡おっ♡んお♡
22 お前のマラがッ♡ごちゅんごちゅんッ♡ってッ♡
23 ぐおゝッ♡ほおッ♡んおゝッ♡ほおゝッ♡
24 あッ♡先っぽ膨らんでおるッ♡

- 1 んおゝ ツ…♥よいぞ…♥
- 2 このまま中を出してくれ…♥
- 3
- 4 お前の濃ゆい子種…♥中に欲しいんじゃ…♥
- 5 お前との思い出が欲しい…♥
- 6
- 7 頼む…♥中に…♥
- 8 お前の子種いっぱい妾の中に…♥
- 9
- 10 出して…♥出して…♥出して…♥
- 11
- 12 んゝ ツ！♥んゝ ～～～ツ！！！！♥
- 13
- 14 ふ～ツ…♥ふ～ツ…♥ふ～ツ…♥
- 15
- 16 んツ…♥いっぱい出たな…♥
- 17 胎が凄く重たいぞ…♥
- 18
- 19 お前のがたくさん詰まってると思うと…♥
- 20 妾、幸せじゃ…♥
- 21
- 22 って…♥まだ大きいままじゃな…♥
- 23 どうする…？♥まだするかの…？♥
- 24 勿論よいぞ…♥

- 1 じゃが…♥すまない…♥腰が抜けてしまったの…♥
- 2 今度はお前が動いてくれるか…? ♥
- 3
- 4 ありがとう…♥
- 5
- 6 さ…♥お前の好きな様に…♥
- 7 妾の事を抱いておくれ…♥
- 8
- 9 ん`ッ♥あっ♥おおッ♥んおッ♥ほひッ♥
- 10 おおッ♥ぐおッ♥おおッ♥おん`ッ♥おッ♥おお`ッ♥
- 11 おッ♥おッ♥んおッ♥おほおッ♥おオ`〜♥
- 12
- 13 こんな♥ケダモノみたいなッ♥腰振りッ♥んお`ッ♥おッ♥
- 14 性欲をッ♥解消する為だけの`ッ♥抱き方ッ♥んお`ッ♥
- 15 優しいお前がッ♥こんな`ッ♥んおッ♥ほおッ♥ぐお`ッ♥
- 16
- 17 あ〜♥ダメだッ♥好きッ♥ど〜ぶつ交尾ッ♥好きッ♥んお`ッ♥
- 18 どうしようもなくッ♥気持ちよいッ♥あッ♥好き♥好き♥
- 19 お前が好きッ♥大好きッ♥あッ♥んお`ッ♥ほぎい`ッ♥
- 20
- 21 んお`ッ♥ぐお`ッ♥おお`ッ♥おお`ッ♥んお`ッ〜♥
- 22 おッほ♥ぬお`ッ♥ほお`ッ♥腰はやッ♥はやい〜♥
- 23 ひゃッ♥お`ッほ♥うお`ッ♥んッ♥ほお`ッ〜〜♥
- 24

- 1 んおゝ ッ♥よいぞッ♥もう一度ッ♥妾の中にッ♥んおゝ ♥
- 2 お前の濃ゆい子種を♥妾の子宮の隅々まで♥まき散らしておくれ♥
- 3
- 4 んおゝ ッ♥くるくるッ♥子種来る♥おおゝ ッ♥んおゝ ッ♥
- 5 んおゝ 〜ッ♥おおゝ 〜ッ♥イぐッ♥イツくゝ 〜ッ♥
- 6
- 7 これしゅご…♥あッ…♥あっちゅいのがッ…♥
- 8 中でぶちまけられてッ♥
- 9 あッ♥しあわせ…♥
- 10 あっ…♥好き…♥好き…♥大好き…♥
- 11
- 12 ふ〜ッ…♥ふ〜ッ…♥ふ〜ッ…♥
- 13
- 14 ありがとうな…♥
- 15 最後に妾の我儘に付き合ってくれて…♥
- 16 なぁ…♥抱きしめてくれ…♥お願いじゃ♥
- 17
- 18 ぐすっ…ぐすっ…すんすん…ぐすっ…
- 19 な、泣いてなどおらんわ…ち、違う…
- 20 妾は泣いてなど…ぐすっ…ぐすぐすっ…
- 21
- 22 んっ…♥ちゅっ…♥ちゅぱッ…♥ちゅっ…♥ちゅっちゅ…♥
- 23 ちゅぞッ…♥ちゅぱッ…♥ちゅぞぞッ…♥れろれろ…♥
- 24 くちゅッ…♥ちゅぱ…♥ちゅっ…♥ふはッ…♥

- 1 別れが辛いのは分かっておるのに…
- 2 妾はきっと寂しいんじゃ…ずっとひとりぼっちで…
- 3 でもお前が現れて…お前と愛し合って…ぐす…
- 4 お前と離れたくない…妾とお前は…ずっと一緒じゃ…
- 5
- 6 ぐす…嫌じゃ…嫌じゃ嫌じゃ…ぐす…
- 7 うえ～ん…もう一人は嫌じゃ…
- 8 ひとりぼっちは嫌なんじゃ…ぐすぐす
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24

- 1 トラック 5
- 2
- 3 起きたか…おはよう…
- 4 昨日の夜はすまなかった…
- 5
- 6 最後はあんな…赤子の様に泣いてしまって…
- 7 顔から火が出そうじゃ…
- 8
- 9 さて…準備はよいか…？
- 10 よし、それでは森へ行こうかの…
- 11
- 12 扉を開くには最初に出会った場所が都合がいいんじゃない…
- 13
- 14 そうじゃ…着くまでの間、少し話をしてもよいか…？
- 15 本当はの…ここから出てみたいんじゃない…
- 16 もし叶うなら…お前に付いてゆきたい…
- 17
- 18 そうして、こんな風に
- 19 お前の隣を歩いていたいんじゃない
- 20
- 21 もしそう言ったら…お前は妾を連れて行ってくれるかの…？
- 22
- 23 喜んで…か…
- 24 嬉しいのお…

- 1 じゃが、それは出来んからのぉ
- 2 もしここから離れる事が出来ても
- 3 きっと妾は消えてしまうじゃろう…
- 4
- 5 そうしたら、この場所も消えてしまう…
- 6
- 7 分かるんじゃ…
- 8
- 9 ここはきっと妾の為に用意された流刑の地じゃ
- 10 妾の魂とこの地は一蓮托生…
- 11
- 12 何の罪を背負っているのかはおろか
- 13 妾は元が何者でどの様にしてここに来たのか
- 14 この狐の姿である意味も何も分からんのじゃ…
- 15
- 16 じゃが背負うべき罪があるから…
- 17 きっとここにいる…
- 18
- 19 迷い人を送り返しているのも
- 20 それが妾に出来る唯一の事じゃから…
- 21 もしそれが罪を雪ぐ事にはならなくても
- 22 妾はやり続ける…
- 23
- 24 そして答えが見つからなくても

- 1 妾はずっとここにいる…
- 2 それが運命なんじゃ…
- 3
- 4 だったらお前が妾に会いに来るじゃと…？
- 5 お前がそう願うなら、いつでもここに来れるじゃろう
- 6 お前と随分愛し合ったからな
- 7
- 8 お前の中に妾の力が混ざってしまった様じゃ…
- 9 ここに来る扉を開く事は出来るじゃろう…
- 10
- 11 お前が妾を忘れない限りはな…
- 12 しかし、また会いに来てお前も妾はお前の事を忘れておるぞ
- 13 最初にお前と会った時に、他の迷い人を送ったと言ったじゃろ…？
- 14
- 15 あれは正確には「送ったと思う」じゃ
- 16 自分の中から力が抜けていたからの
- 17
- 18 恐らく迷い人を送るのに使ったんじゃろう
- 19 と思っただけじゃ
- 20
- 21 その者の性別や容姿、大人か子供かすらも覚えていない
- 22 妾は誰かと繋がりを持つのさえ禁じられているのじゃろう…
- 23
- 24 じゃが忘れたならお前が思い出させてくれたらいい

1 妾がお前を思い出す事は出来なくても
2 お前を愛するこの心は変わらんじゃろう
3
4 きっとまた出会ってもお前を好きになる自信が妾にはある
5 何度繰り返しても、きっとそれは変わらないんじゃ…
6
7 さあ、着いたぞ…
8 お前の居るべき場所へ帰る時間じゃ…
9
10 なぁ…最後に抱き締めてもよいか…？
11
12 ん…ありがとう…
13 短い間だが…お前との時間は幸せじゃった…
14
15 妾の愛しい人…
16 妾はお前が大好きじゃ…
17 愛しておる…
18
19 妾はいつでも…ここにおる…
20 ずっとずっとここにおるからな…
21
22 ちゅっ…♥
23
24

- 1 じゃあな…気をつけて帰るんじゃぞ…
- 2 向こうでも達者でな…
- 3 また逢う日まで…さようならじゃ…